

マイクロカセット™コーダー

取扱説明書・保証書

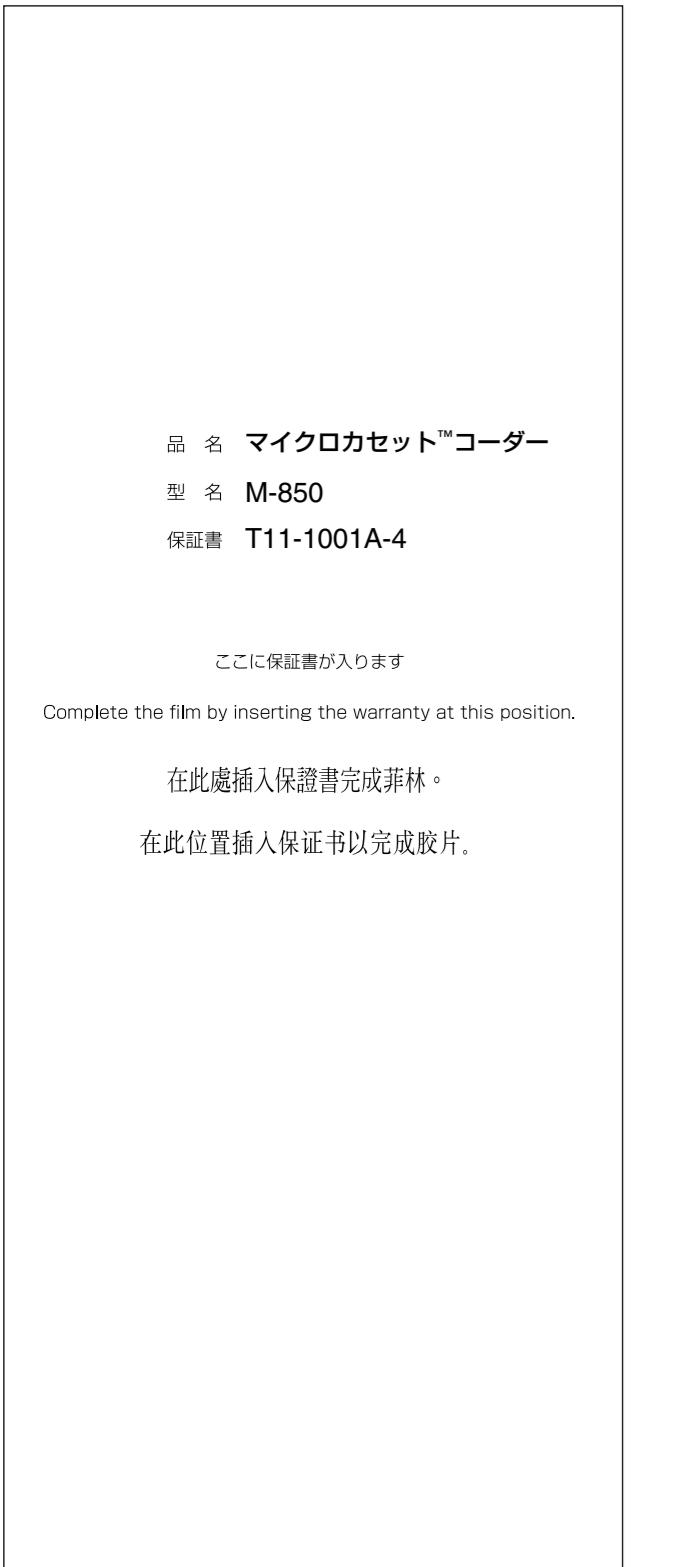
お買い上げいただきありがとうございます。
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

△警告 この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

M-850

Sony Corporation ©2002 Printed in China



品名 マイクロカセット™コーダー

型名 M-850

保証書 T11-1001A-4

ここに保証書があります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保証書完成菲林。

在此位置插入保証書以完成胶片。

安全のために

△警告

- 乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープはMICROCASSETTE™の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。
- テープA面には小さくぼみがあり、暗いところでもA面B面の区別ができます。
- 約5mm
- 約2.5mm
- MICROCASSETTE™のテープ
- MICROCASSETTE™以外のテープ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずはチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

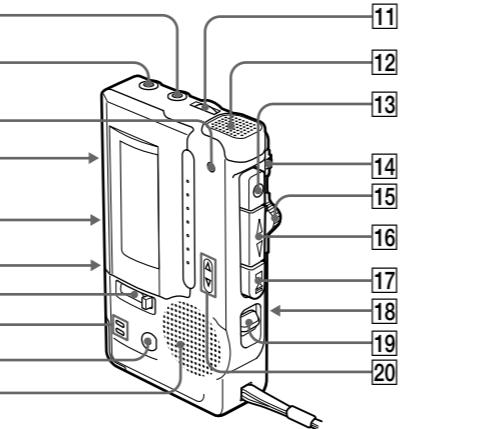
部品の保有期間について

当社ではマイクロカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な特長

- テープの表裏を確かめずに早送り、巻き戻しができるイージーFF/REWつき録再オートリバース。
- 電池の交換時期をお知らせする△（電池交換）ランプ。
- 録音内容ごとに信号音を入れておくことにより、キューレビュー時に頭出しができる、キューマーカー機能。
- 再生の速度を普通の速度より速め、効率良く聞き返すのに便利な、ファーストプレーバック（速聞き再生）機能。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まるVOR（自動音声録音スタート）機能。
- 11時間連続録音（アルカリ単4形乾電池使用時）
- お手持ちのヘッドホンを使って両耳で聞くこともできる、L/Rモノラル出力。
- 再生モードから直接録音モードにできる後追い録音機能。
- テープカウンター
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップボーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗を減らします。

各部のなまえ



乾電池を取り出すときは

- 乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をお使いください。
- ご注意** 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- *1 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
 *2 音量▲/▼のみ*2
 *3 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *4 早送り／キューレビュー／巻戻し／レビュー／音量調節
- *5 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *6 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *7 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *8 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *9 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *10 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *11 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *12 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *13 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *14 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *15 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *16 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *17 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *18 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *19 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- *20 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

- 電池入れのふたがはずれたときは
電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。

*1 早送り／巻戻し／レビュー／音量調節

*2 音量▲/▼のみ*2

*3 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*4 早送り／巻戻し／レビュー／音量調節

*5 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*6 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*7 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*8 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*9 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*10 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*11 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*12 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*13 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*14 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*15 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*16 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*17 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*18 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*19 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*20 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*21 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*22 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*23 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*24 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*25 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*26 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*27 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*28 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*29 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*30 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*31 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*32 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*33 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*34 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*35 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*36 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*37 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*38 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*39 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*40 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*41 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*42 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*43 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*44 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*45 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*46 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*47 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*48 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*49 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*50 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*51 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*52 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*53 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*54 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*55 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*56 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*57 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*58 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*59 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

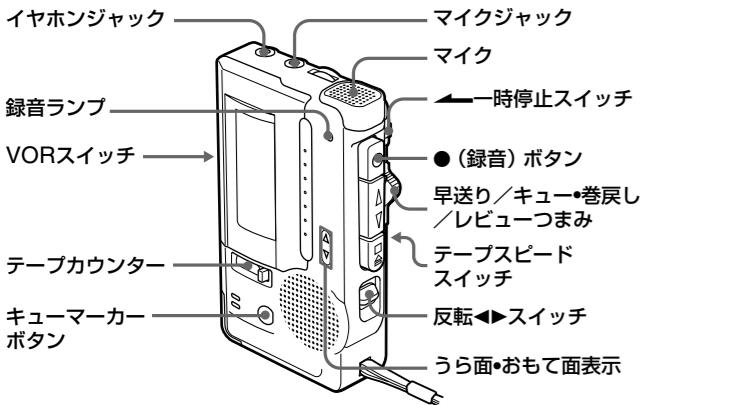
*60 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*61 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*62 テープ速度2.4cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

*63 テープ速度1.2cm側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

録音の便利な機能を使う



録音する面を選ぶ

両面を続けて録音するには

- 1 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れ、ふたを閉めます。
- 2 うら面・おもて面表示が「おもて面」であることを確認します。
- 3 録音を始めます。
おもて面（ふた側の面）の録音が終わると、自動的にうら面（本体側の面）から録音が始まります。（ただし、おもて面からうら面に切り換わる間数秒間録音がとぎれます。）
うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

ご注意

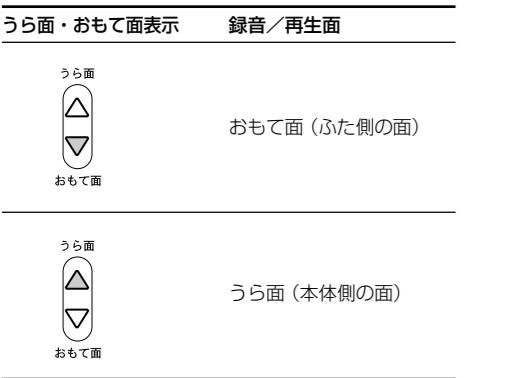
おもて面、うら面ともにツメが折れていないことを確認してください。うら面のツメだけが折れている場合でも録音できません。

片面だけを録音するには

- 1 録音を始める面を本体側にしてカセットを入れ、ふたを閉めます。
- 2 反転◀▶スイッチをすらして、うら面・おもて面表示を「うら面」にします。
- 3 録音を始めます。
録音はうら面から始まります。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

ご注意

うら面のツメが折れていないことを確認してください。詳しくは「大切な録音を守るには」をご覧ください。



ご注意

停止中にふたをあけるとテープの走行方向は自動的におもて面になります。再び操作すると、必ずおもて面を録音します。

・録音中は反転◀▶スイッチは使えません。

テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭出しに便利です。

テープカウンターはおもて面を走行中は数字が増え、うら面を走行中は数字が減っていきます。

テープ速度を切り換える

- テープスピードスイッチでテープ速度を選びます。
2.4cm：通常の録音をすると
「1.2cm」のときより良い音で録音できます。
1.2cm：テープを2倍の長さに使って録音すると
(MC-60を使うと往復120分の録音ができます。)

ご注意

再生は必ず録音と同じテープスピードで行ってください。他のマイクロカセットレコーダーで再生する可能性のある場合は、なるべく2.4cm/sの速さで録音してください。1.2cm/sの速さで録音したテープを、他のマイクロカセットレコーダーで再生すると、再生音が異なる場合があります。

音がしたとき自動的に録音を始める（VOR機能）

VORスイッチを「高」または「低」に切り替えます。

録音状態	スイッチの位置
小さな音でも録音が始まる (会議などを録音するとき)	高
比較的大きな音のときだけ録音が始まる (口述録音するとき)	低

- ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間が省けるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

ご注意

・VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてVORスイッチを「高」または「低」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
・音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞くには

イヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。
聞こえる音量は一定で、音量◀▶つまみで調節することはできません。

後追い録音をする

再生中に●ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したもの的一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く（ワンタッチレビュー）

録音中に早送り／キュー・巻戻し／レビューつまみを巻戻し／レビューの方向にすらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

キューマーカーを録音するには

録音中にキューマーカーボタンを押すことによって、目印としての信号を録音することができます。
キューマーカーボタンを押すと、録音ランプが点滅して、信号がテープに録音されます。さらに長い信号を録音したい場合は、ボタンを押し続けてください。
再生状態で早送りをしたり（キュー）、巻き戻したり（レビュー）すると、信号が録音されているところで音（ブー）がして知らせます。また、再生中もイヤーレシーバーをご使用の場合は低い音（ブー）が聞こえます。

ご注意

・停止中にふたをあけるとテープの走行方向は自動的におもて面になります。再び操作すると、必ずおもて面を録音します。
・録音中は反転◀▶スイッチは使えません。

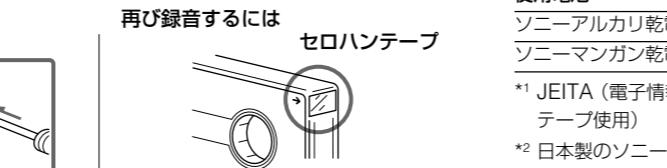
テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭出しに便利です。

テープカウンターはおもて面を走行中は数字が増え、うら面を走行中は数字が減っていきます。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折って穴をふさぐと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。



外部マイクや他の機器から録音する

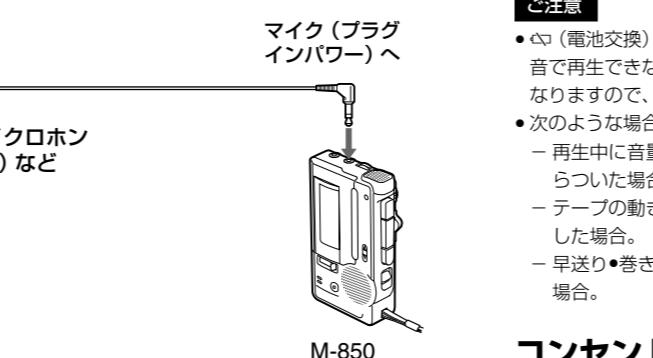
状況に合わせてVOR機能をお使いいただけます。

ご注意

- 接続コード類のプラグはしっかりと差し込んでください。
- 接続や音量調整の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク（別売り）から録音する

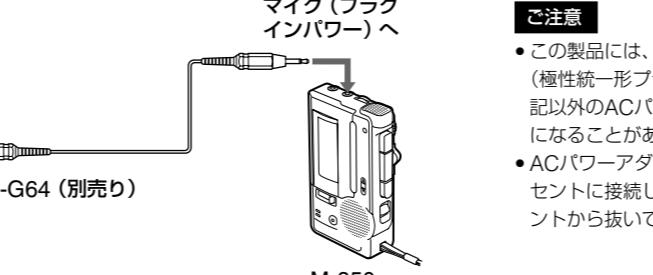
外部マイクを本機のマイクジャックにしっかりとつなぎます。プラグインパワー対応のマイクをつなぐと、マイクの電源は本機から供給されます。



他の機器から録音する

本機を録音状態にして、接続したモノラルテープレコーダーを再生状態にします。

VORスイッチを「切」にします。



使用上のご注意

録音について

- ・カセットテープは「MICROCASSETTE」の表示があるものをご使用ください。
- ・録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- ・録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります（ハウリング現象）。この場合はイヤーレシーバーをはすしてください。
- ・マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると内部マイクでの録音はできません。
- ・録音中はスピーカーから音は出ません。イヤーレシーバーで聞いてください。

電源について

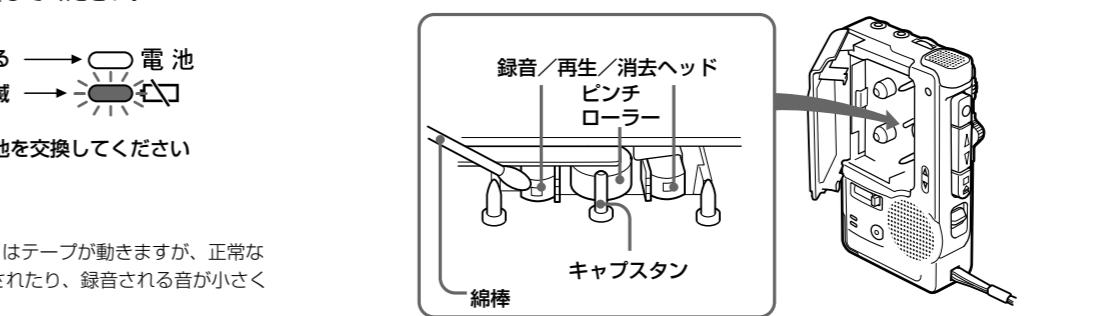
- ・落したり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ・次のような場所には置かないでください。
 - 一温度が非常に高いところ（60°C以上）。
 - 一直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 一窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
 - 一風呂場など湿気の多いところ。
 - 一磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - 一ほこりの多いところ。

- ・長い間本機を使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回ししてください。良い状態でお使いいただけます。
- ・付属のイヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- 乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

- ・キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万能故障の場合は、内部を開けずお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ



よい音でテープを聞くために

- 10時間程度使ったら、市販のクリーニング液でヘッド、キャブスタン、ピニチローラーをクリーニングします。
- ボタンを押し込むと、ヘッドやピニチローラーが出てきますので、綿棒などできれいにふいてください。

コンセントにつないで使う

- 1 別売りのACパワーアダプターAC-E30Mを本機のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- 2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

- ・この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30M（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。
- ・ACパワーアダプターは簡単に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、速やかにコンセントから抜いてください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。

- | 症状 | 原因／処置 |
|--|---|
| カセットが入らない。 | ・カセットの向きが正しくない。 |
| カセットが閉まらない。 | ・◀▶ボタンが押し込まれている。 |
| 操作ボタンを押しても動作しない。 | ・乾電池の①と②の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。 |
| ・乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。 | |
| ・一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。 | |
| ・ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 | |
| ・電源に差し込んでいないACパワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないでいる。 | |
| カセットが入っていない。 | ・カセットが折れている。（うら面のツメだけが折れている場合でも録音できません。）→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。（片面だけ録音する場合はうら面にして録音してください。） |
| 片面録音の場合は、カセットの入れかたとテープ走行面が正しくない。 | →録音する面を本体側にしてカセットを入れ、反転◀▶スイッチでうら面・おもて面表示を「うら面」にする。 |

録音できない。

- ・カセットテープは「MICROCASSETTE」の表示があるものをご使用ください。
- ・録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- ・録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります（ハウリング現象）。この場合はイヤーレシーバーをはすしてください。
- ・マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると内部マイクでの録音はできません。
- ・録音中はスピーカーから音は出ません。イヤーレシーバーで聞いてください。

- ・VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「切」にする。
- キュー／レビュー中、途中で止まる。または動かない。
 - 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
 - 前の音が完全には消えない。・消去ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
 - 操作ボタンを押しても動作しない。・うら面の状態でテープが終わまで巻き取られる。→反転◀▶スイッチをすらしておもて面にする。
 - 再生できない。
 - スピーカーから音が出ない。・イヤーレシーバーが差し込まれている。
 - 音量が最小になっている。
 - 音量が絞られている。
 - 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。
 - 音が小さい。
 - 音量が絞られている。
 - 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。
 - 音質がよくない。
 - 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。
 - 雑音が入る。
 - 録音／再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
 - カセットテープをスピーカーの上に直接置いたため、テープが磁化されて音質が劣化した。
 - 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。→携帯電話などから離して使用する。
- 音が不安定で急に音量が狂う。
 - 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。
 - キャブスタンやピニチローラーが汚れている。→クリーニングする。
- 再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。
 - テープスピードスイッチの位置が録音時と違う。
 - 再生音がおかしい。
 - 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。
- 再生速度が通常より速い。
 - ファーストプレイバックスイッチが矢印の方向へずらされている。
 - 本体作動中にノイズ（カチカチ）が入る。
 - 早送り巻き戻しをして、停止状態になっていない。→▶◀ボタンを押す。テープが終わまで巻き取られたあとにカタカタと音がする。

主な仕様

トラック方式	マイクロカセットモード
スピーカー	直径28 mm
テープ速度	2.4 cm/s, 1.2 cm/sのスピード切り替え
周波数範囲 (JEITA ¹⁾	300 Hz - 4,000 Hz
入力端子	(テープスピード切り替えスイッチ2.4 cm/s時) マイクロカセット（プラグインパワー対応）(1)
出力端子	インピーダンス 3 kΩ以下のマイク用 イヤホン（ミニジャック）(1)
実用最大出力 (DC時)	250 mW (JEITA)
電源	DC 3 V, 単4形乾電池2本使用
最大外形寸法	約58.5 mm × 100 mm × 22.5 mm (幅/高さ/奥行き) (JEITA)
質量	最大突起部含む 本体 約110 g ご使用時 約140 g (乾電池R03 (SB) 2本、マイクロカセットMC-60含む)
付属品	ソニーマンガン乾電池R03 (SB) (お試し用) ²⁾ (2) マイクロカセットテープMC-30 (1) モノラルイヤーレシーバー (1) キャリングポーチ (1)